



# 研究実施のお知らせ

筑波大学JA茨城県厚生連寄附講座・臨床研究地域イノベーション学では、ポリファーマシーに関する探索的調査研究を実施します。

## <ポリファーマシーとは>

慢性的に多くの薬を服用している状態であり、多剤処方とも呼ばれます。明確な基準はありませんが、一般的には5剤以上服用している状態を指します。薬の数が多いと、薬剤相互作用などで健康被害が発生する可能性が高まります。特に高齢者の場合、薬の有効性よりも副作用の方が強く出ることが多くなるため、「不適切な処方」に該当する場合があります。

## <研究の目的>

高齢者におけるポリファーマシーの実態を調査し、その問題点を明らかにすること

## <研究の意義>

本研究の結果から、処方の見直しと適正な薬物治療の実現へつなげ、医療費抑制と国民の健康増進を目指します。



筑波大学  
University of Tsukuba

<本研究ならびに個人情報に関するお問い合わせ先>  
筑波大学医学医療系JA茨城県厚生連寄附講座  
臨床研究地域イノベーション学  
藤江 敬子  
TEL 029-853-7632  
E-mail k-fujie@md.tsukuba.ac.jp

## 研究の概要

保存されている過去のデータ（電子カルテ、調剤履歴）を用いて実施します

### <対象>

- ◆ 65歳以上の高齢の方
- ◆ 2015年の1年間に①または②に該当する方
  - ① 協力病院（水戸協同病院）に新規入院した方
  - ② 協力調剤薬局（茨城県内の日本調剤）で薬を受け取った方

### <方法>

- 1) 対象患者さんの中から慢性的に5剤以上服用している方を抽出し、その割合を算出します
  - ① 入院した方は入院時の持参薬を調べます
  - ② 薬局で薬を受け取った方は、継続して処方されている薬を調べます
- 2) 1)で抽出した患者さんの薬剤データから、「不適切な処方」\*と判断されるケースを抽出し、分類するとともに、その割合を算出します
  - \*日本老年医学会のガイドライン等に基づき判定します
- 3) 患者さんの背景情報（年齢、性別、既往歴、合併症、等）との関連を分析します

### <研究期間>

倫理委員会承認後  
～2019年3月31日

### 個人情報の取扱いについて

本研究では個人情報を取り除き、匿名化された情報のみを取り扱います。本研究関係者以外に情報を譲り渡すことはありません。研究成果の発表の際にも、個人が特定されるような情報を公表することはありません。ご心配な点は左記にお問い合わせください。